

クラブ名 ↓			事業名 ↓	担当者 ↓
会津若松城南ロータリークラブ			AEDの使い方を通して会津の子供達に命の尊さを考えさせるプロジェクト	会長・小川洋正 幹事・村崎雅彦 社会奉仕委員長・岡本恭宜
対象	内部		場所 ↓	実施時期
	外部	90人 (予定)	人 AEDトレーナー贈呈式:会津若松市役所北会津支所内・コミュニティ施設ピカリンホール AEDトレーナー講習会:福島県立会津学鳳中学校(予定)	平成29年7月 ~ 平成30年5月

● 事業趣旨（どのように地域の為になったのか）

当該事業は、猪苗代RCの発案による、会津若松西RC・会津若松南RC・会津若松中央RCと当クラブの5クラブによる共同事業である。その趣旨は、子供達・一般の方々を対象に、AED（自動体外式除細動器）の普及と取扱い方の講習を通し、生命の尊さと思いやりの大切さを啓発する、というものである。

● 総予算・資金内訳	195,000円(5クラブ全体)		
ロータリー財団利用	97,475円(5クラブ全体)	外部資金利用	0円

● 会員の行動について

平成29年10月30日14時より会津若松市役所北会津支所内のコミュニティ施設ピカリンホールで行われた、会津若松地方広域市町村圏整備組合・消防本部へのAEDトレーナー贈呈式に会長・小川洋正、副幹事・赤城明広。広報委員長・渡部伸久の3名が出席した。

平成30年5月末までに、会津若松地方広域市町村圏整備組合・消防本部及び福島県立会津学鳳中学校と日程等を調整のうえ、AEDトレーナーの取り扱い講習会を実施する予定である。

● 広報の方法について

平成29年10月30日のAEDトレーナー贈呈式は、平成29年11月7日付けの福島民友新聞に掲載された。今後実施予定のAEDトレーナーの取り扱い講習会も同様に新聞社に取材してもらい、また当クラブのホームページに掲載する予定である。

● 協力団体等

会津若松地方広域市町村圏整備組合・消防本部。福島県立会津学鳳中学校。

● 事業終了後の管理について

猪苗代RC、会津若松西RC、会津若松南RC、会津若松中央RCと相談のうえ決める。

● 内外の評価は

会津若松地方広域市町村圏整備組合・消防本部より、猪苗代RC、会津若松西RC、会津若松南RC、会津若松中央RC共々感謝状を頂いております。

● 画像等





報告日	2017年11月24日	報告者氏名	小川 洋正
-----	-------------	-------	-------